

平成17年度

「和歌山県工業技術センター利用に関するアンケート調査結果」

1. はじめに

和歌山県工業技術センター(以下「センター」という。)は、県内企業の産業育成と技術力、研究開発力向上のため、研究開発、依頼試験・分析、技術相談・指導、技術研修、技術情報の提供などの業務を行っているが、この度、センターの利用状況及びセンターが実施している事業効果の把握と共に、センターの事業や運営に対する要望・意見を収集し、今後の地域中小企業支援活動に活かしていく事を目的として、和歌山県下の企業のうち平成15年度から平成16年度の2年間で5回以上の利用企業284社を対象としたアンケート調査を実施した。

回答企業(181社 回答率64%)の業種別では、「食料・飲料(20社)」、「化学工業(19社)」、医薬品・医薬部外品・化粧品(17社)が多く、「繊維・衣類(12社)」、「漆器(12社)」、「日用家庭用品(11社)」、「金属製品(11社)」がそれに続いている。「その他(41社)」には回答企業数4社以下の業種の合計を示している。また、従業員規模では、「5～20人」62社(34%)が最も多く、次いで「21～51人」38社(21%)、「101～200人」25社(14%)の順となっている。なお、従業員50人以下の企業で全体の67%を占めている。

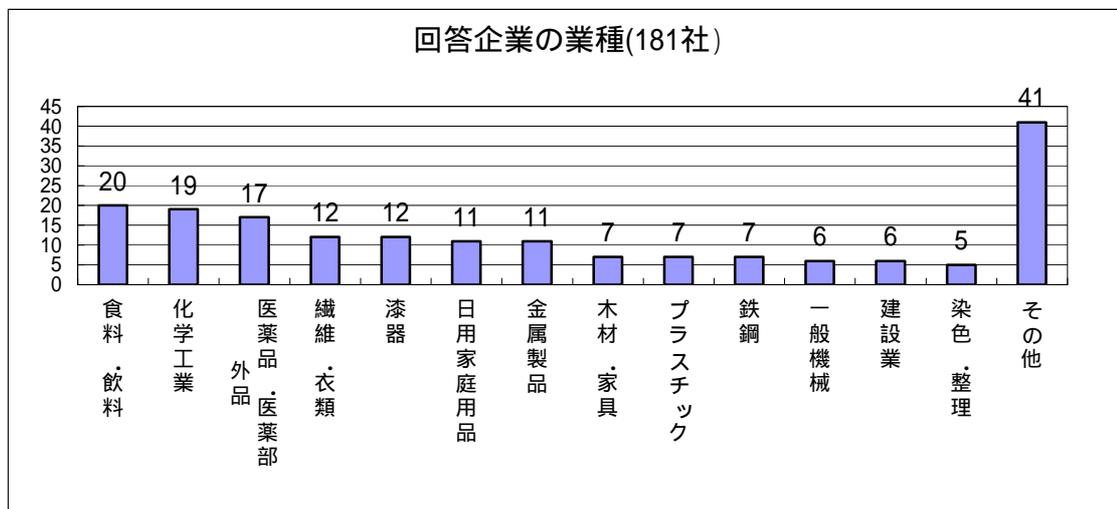


図1

2. 調査結果概要

(1)利用開始時期

- ・ 50%以上の企業が10年以上前からセンターを利用している。
- ・ 約30%の企業が比較的新しく5年前からの利用。

(2)利用したセンターの事業と成果

- ・ 依頼試験、技術相談、設備機器利用の利用が多く、特に依頼試験は80%以上の企業が利用している。
- ・ 共同研究においても20%近い企業が利用している。

利用したセンターの事業については(複数回答)、「依頼試験」148社(81.8%)が最も多く、次いで、「技術相談」107社(59.1%)、「設備機器の利用」83社(45.9%)の順となっている。

- ・ 利用した全ての事業について90%以上の企業が「十分得られた」または「ある程度得られた」と回答。特に、利用の多い依頼試験、技術相談、設備機器の利用、研究会・セミナー等及び情報提供では、95%以上の企業で成果が得られたと回答。

(3)センターを利用した目的と達成度

- ・ 利用目的は品質の証明(成績書の取得)が最も多く、61.9%
- ・ 製品の評価、製品の改良・開発、トラブルの原因究明、製造技術の改良・開発での利用も多い

センターを利用した目的については(複数回答)、「品質の証明(成績書の取得)」112社(61.9%)が最も多く、次いで、「製品の評価」69社(38.1%)、「製品の改良・開発」64社(35.4%)、「トラブルの原因究明」59社(32.6%)、「製造技術の改良・開発」48社(26.5%)の順である。

- ・ 殆ど全ての利用目的について、95%以上の企業が「目的が十分達成できた」、または「ある程度達成できた」と回答。

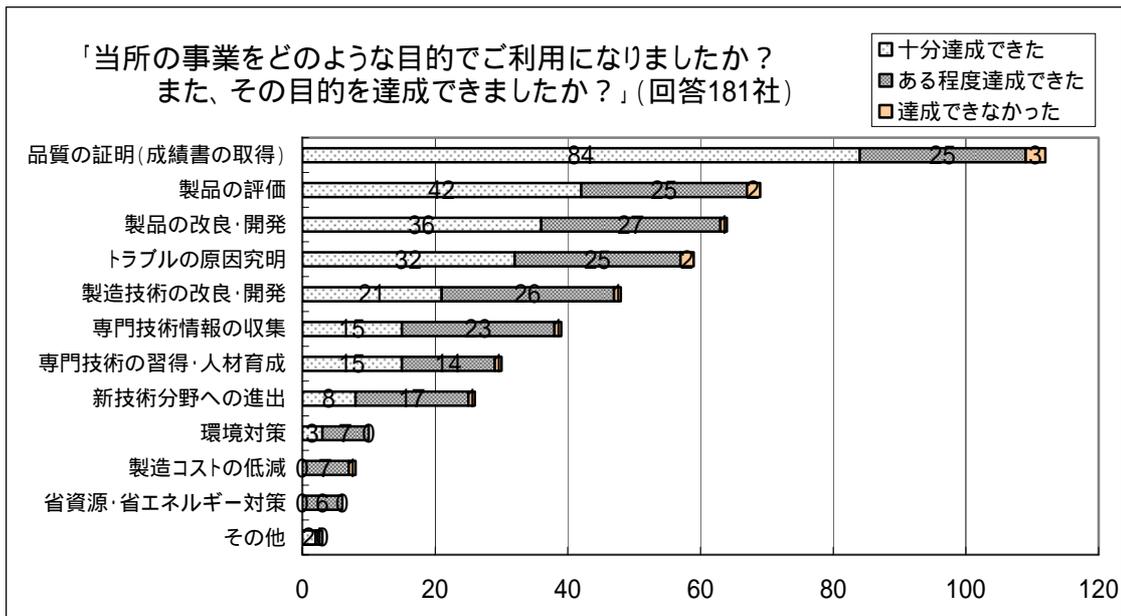


図2

(4)センター利用による金額換算メリット

センター利用により1社あたり約 200 万円のメリットがあった。

センターを利用したことによるメリットを金額換算したところ、114 社(64%)の企業が 100 万円未満であった。一方 500 万円以上の企業も 14 社(7%)あり、平均して1社あたり約 200 万円のメリットがあったことになる。

なお、今回の調査では直接的メリットの他、間接的メリット・波及効果が含まれるかについては不明である。

(5)センターの必要性和今後のセンター利用

- ・ センターは「必要不可欠」または「必要」と回答のあった企業は 156 社(86%)。
- ・ 96.7%の企業が今後ともセンターを利用したい。
- ・ 50%以上の企業が今後も依頼試験、技術相談、設備機器利用を希望している。
- ・ 共同研究が 18%、受託研究も 8%の企業が希望している。

センターの必要性について、「必要不可欠で代替機関の利用は考えられない」83 社(45.9%)、「必要であるが、代替機関の利用も可能」73 社(40.3%)、「あまり必要でない」3 社(1.6%)となっており、ほとんどの企業がセンターは「必要」であると回答している。

今後のセンター利用について、「積極的に利用したい」93 社(51.4%)、「必要ある時に利用したい」82 社(45.3%)、「利用しない」1 社(0.5%)となっており、回答のあった企業のほとんどが今後も利用すると回答している。

また、今後利用を希望するセンターの事業については(複数回答)、従来と同様「依頼試験」129 社(71.3%)、「技術相談」113 社(62.4%)、「設備機器の利用」95 社(52.5%)が多い。他、共同研究が 33 社(18%)、受託研究も 15 社(8%)の企業が希望している。

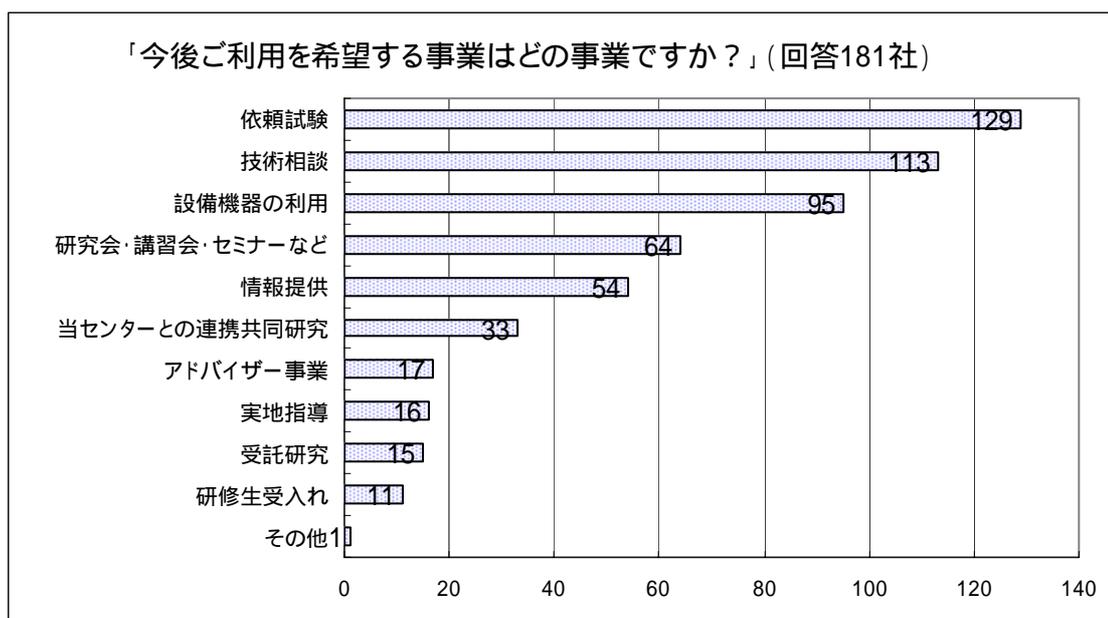


図3

(6) センターへの要望・意見(概要)

- ・ 事務手続きや手数料の改善
- ・ 試験分析・評価・測定可能な項目の増加と速やかな結果の提出
- ・ 設備機器の充実
- ・ 企業と連携した研究の推進
- ・ 情報の提供(セミナーの開催などを含む)
- ・ コーディネート機能の強化

今回調査した企業は、平成15年度～16年度にセンターを5回以上利用して頂いた284社(回答181社)で県内事業所総数の約6%である。更にセンターを利用して頂くために、新規企業(顧客)の開拓に努めると共に、業務の改善、設備機器等の充実、企業との連携強化の他、ホームページ、研究発表会等を通じてセンター業務について積極的にPRしていく必要がある。今後もあらゆる機会を通じて企業ニーズを的確に把握し、県内企業の育成、技術力・研究開発力向上のための支援をおこなっていききたい。

3. 謝辞

今回多くの企業からのご協力のもとにセンター利用に関する顧客満足度のアンケート調査を実施することができました。ご協力頂きました企業及び関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

問い合わせ先

和歌山県工業技術センター 企画総務部 中内

TEL: 073 - 477 - 1271

FAX: 073 - 477 - 2880

Mail: info@wakayama-kg.go.jp